嬉野小学校　学校だより　文責　永池　守

時習　十月　号　②

十月　八日

学校評議員会・学校関係者評価委員会

○掃除指導参観
○五時間目授業参観
○評価委員会での説明並びに意見交換

十月五日、これまでの中間評価を説明し、学校のこれまでの取組を評価していただきました。そして、できている項目ともう少しの項目をそれぞれ具体的に出し、その実態と今後の方策を説明させてもらいました。

【出席者】

谷嶋さん（民生児童委員）
本山さん（パトロールボランティア）
古川さん（元中Ｐ会長）
山口さん（元小Ｐ会長）
嬉野中校長・轟小校長・大草野小教頭
（本校は、校長・教頭・教務が出席）

学校評価は、一つの学校改善のツールです。これまで同様「開かれた学校づくり」のポイントでもあります。二学期にも学校関係者評価委員会を開催する予定です。

（感想や意見の中から）

・マーチングの九州大会出場おめでとうございます。頑張っていますね。
・交通立番をしていると、時々一旦停止をせずにいく車があり危険ですね。
・あいさつをする子どもとそうでない子どもがいます。ちょっと心配です。みんな気持ちよくできたらいいですね。
・**（学校から）**全国学力状況調査の解答の仕方に課題があるようです。「わかっていること」と「できること」は違うという指導をしています。

分かっている＋表現できている＝できている

活用問題の解答に、単位がない・誤字がある・必要な式が全部ない・必要な要素が全部入っていない等は、全て減点対象となります。自分だけ分かったのは、不十分ということなのです。

特に、**相手に伝わるように正確に表現すること**、国語だけではなく算数や社会・理科でも同じです。

習得問題（知識の量や正確さ）については概ねできていますが活用問題に課題があります。比べて考えを書いたり、立式をしたりすることが苦手のようです。また、家庭学習の量や時間も考えなくてはなりません。九月から力を入れて指導を行っていることが以下の四つです。

★問題文から必要な要素を取り出す力
★論理的に解答する力
★速く正しく解答する力
★根気強く最後まで考える力

県内の小学校では、問題文が長いと諦める傾向があり、無回答がいくらか見られます。二学期から再スタートです。

忙しい中、学校関係者評価委員の全員の皆様に集まっていただき、ありがとうございました。

実りの秋（スポーツの秋　勉学の秋　芸術の秋）

勉強・芸術・スポーツ、それぞれの活動を頑張っています。どんなことでも日頃の練習を継続することが力になります。おめでとうございます。

・県理科作品展佐賀新聞社賞５年山下さん
・野球部　吉野ヶ里大会３位
・柔道部　学童オリンピック２年山口君銅メダル、４年江口君銀メダル、４年梶原さん銅メダル、５年中島さん銅メダル
・マーチングバンド金賞（十月九日に九州大会別府大会出場）
・サッカー部　向井杯優勝
・県トラック協会「夢のトラック絵」最優秀賞４年寺田君